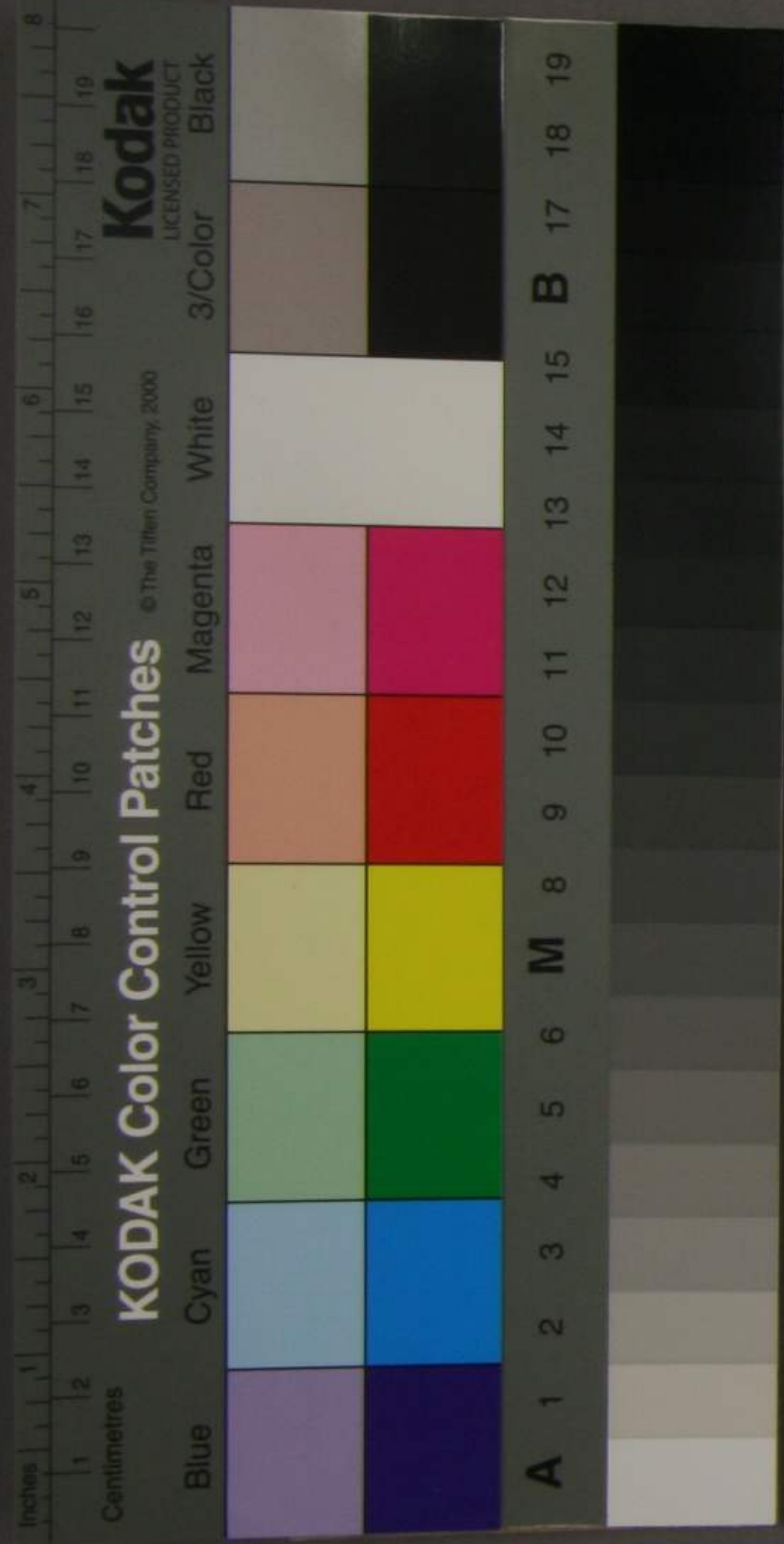




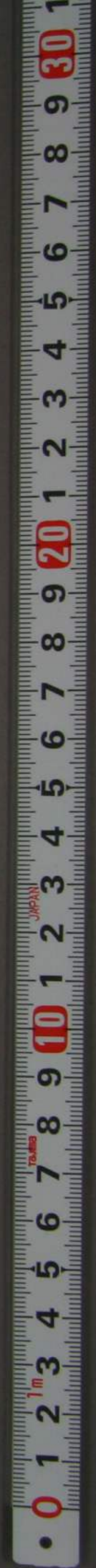
夫レ生糸ハ本邦物産ノ冠タルモノニシテ本縣地方ハ其製造ニ於テ全国第一ヲ以テ稱セラル始ノ生糸製造人タルモノハ緻密良好ノモノヲ製シ單ニ内国需用ノ具トナセシニ横濱開港ノ後外高ノ稱賛スル処トナリ其價格頗ニ騰貴シ二三年ヲ出デスシテ其價格ヲ三倍スルニ至レリ此ニ於テ糸商人（俗ニセトル稱ミ仲ナル者出デ目下ノ巨利ヲ謀ラント欲シ製造人ニ勸ムルニ粗製濫造ノ法ヲ以テシ甚シキニ至テハ外商ハ蠢愚ナリ製造ノ善惡ヲ知ラズト説キ以テ製造人ヲ煽



414
A1086

新島生糸部會社

大正十一年四月
辰橋郵寄



勤シ粗造ヲ顧ミズ務メテ時日ヲ消費セ
ス以テ多額ノ製造ヲナスニ注意スルニ
至ラシム此ヲ以テ其早製ヲ要スルニハ
良繭ニ混スルニ大繭ヲ以テシ良糸ヲ以
テ外部ヲ装治シ或ハ数十ノ繰緒ヲ合操
シ其糸尾二三繰ニ至ルニ及ンテハ頓ニ
数十ノ糸緒ヲ添加シ細大ノ不平均ヲ顧
ミス糸量減殺センヲ恐レ繰繰ノ際其類
ヲ去ラス又其重量ヲ要スルニハ巻紙元
結（元結ハ提糸ヲ束ヌル紙ヨリナリ）ノ如キモ石灰等ヲ
澆入シ割エ巻紙ノ間ニ挟ムニ鉄釘等ヲ
屑片ヲ以テシ及糖水ヲ抹シ浴室并ニ青

草ノ間ニ藏置シ以テ湿気ヲ含マシムル
ノ類皆其糸量ヲ増加スルノ奸策ニシテ
偶其奸タルヲ知ルモノアリト虫に利ヲ
争フハ人々ノ免レサル処ニシテ製造ニ
苦慮注意ヲ要セス目下ニ巨利ヲ得ルニ
甘シジ終ニ一般ノ風習トナリ恬トシテ
是レヲ怪マサルニ至レリ此レ素ヨリ糸
商人ノ罪魁タルハ免ル可カラサルモノ
ト虫モ賣込問屋タルモ亦其罪ヲ分カ
タサルヲ得サルナリ何則横濱ニ於テ生
糸賣込問屋ト称スルモノハ糸商人ノ買
集セシ荷物ヲ引受ケ之レヲ洋館ニ輸ス

モノニシテ其荷物ヲ外高ニ賣却スルヤ
賣込人（問屋ノ）ヲシテ之ヲ扱ハシメ偏ニ
多数ノ荷物ヲ賣捌キ口銭ヲ收ムルヲ業
務ノ本旨トスルヲ以テ却テ媚ヲ外商ニ
呈シ膏ニ其歡心ヲ収メント欲シ敢テ生
糸ノ善惡ヲ問ハス粗造濫製ノ糸ヲモ良
品ト称シ甲館ニ於テ擯斥サルレハ忽チ
外包ヲ改裝シテ之ヲ乙館ニ送り乙館之
レヲ望マサレハ再ヒ丙丁ノ館ニ致シ巧
ニ瞞着シ得ルヲ以テ自己ノ功トナシ一
夕ニ惡品ヲ以テ騙シ得レハ却ツテ得色
アリ而シテ糸商人ハ此間巨多ノ利益アル

ヲ以テ賣込人ヲ待ツ師父ノ如ク唯其
鼻息如何ヲ窺ヒ以テ賣込ノ当否ヲトシ
敢テ主客ノ地位ヲ反對スルヲ知ラサル
ナリ是皆我商人ノ為ス所ニシテ其所為
固ヨリ惡ム可シト雖モ外商ノ奸策ハ又
是ヨリ甚シキモノアリ其生糸ヲ購求ス
ルヤ港中ニ物品少ナケレハ不良ノモノ
モ之レヲ高價ニ買入レ之レヲ四トナシ
以テ外商ヲ揶揄ス内高其騙瞞ナルヲ知
ラスシテ之レヲ其賣込問屋ヨリ内地ノ
各市場ニ報道スレハ糸商人ハ各地ニ奔
走シ数多ノ荷物ヲ買収シテ陸續入港セ

シム外商ハ其荷物ノ輻湊スルヲ見テ俄
ニ價格ヲ低下シ既ニ買収ノ約束ヲ了シ
タル荷物ハ我館内ニ引入レ数日ヲ経ル
モ其代價ヲ不拂以テ我商人ノ資金ニ苦
シム之レヲ擲賣スルヲ待テ之レヲ安價
ニ買入レ以テ得策トナシ其目的トスル
処恰モ我系商人ノ外商ニ於ケルカ如ク
常ニ其数ノ多キヲ要シ之レヲ本国ニ輸
送シ亦自家国人ノ輿望ニ適スルマ否ヲ
問ハス故ヲ以テ英京倫敦ニ粗製ノ生糸
ヲ山積シテ敗物トナスニ至リ此レ則
我製絲ヲ濫製ニ陷ラシムルノ原因ニシ

テ偶此弊ヲ矯メントスルモノアルモ製
造人ト称スルモノハ毎戸微々ノ産業ニ
シテ結合ノ方法モナク隨テ資本モ乏シ
ク縱令良善ノ美絲ヲ製造スルモ之ヲ貯
蓄シ良價ヲ待テ而後之レヲ賣ルソ餘
資ナク隨テ製シ隨テ賣リ半年ノ膏血ヲ
絞ツテ以テ悉ク之ヲ系商人ノ手ニ委シ
敢テ之レヲ左右スルノ權ナシ又前橋大
渡リ團根水沼伊勢寄ノ各所ニ製絲器械
ヲ起シ精製ノ生絲ヲ作ルト云ヒ是レヲ
横濱ニ鬻クノ際賣込問屋ハ荷高ノ僅少
ニシテ口錢ノ少キヲ以テ良製ノ佳品ト

虫ニ蔑視シテ顧ミス玉石混交シテ良價
ヲ収ムル能ハス周年辛苦ノ勞モ一朝ニ
レテ水泡ニ属セシムルヲ以テ随ツテ此銳
氣ヲ挫折シテ亦振ハス濫製百出終ニ声
譽ヲ海外ニ落スニ至レリ是ヲ以テ同志
者大ニ慮ヲ苦シメ明治九年佐藤百太郎
ニヨリテ新井領一郎ヲ米國ニ派遣シ該
精絲ヲ以テ始メテ直賣ヲ試ミタルニ頗
ル米人ノ望ニ適シ次テ其需用ヲ益スニ
至レリ是改良ノ微効ヲ呈スル端緒ヲ開
キレ第一期ナリ
此ニ於テ同志者始メテ勉強ノ氣力ヲ振

起シ其要求ノ意ヲ飽カシメント欲シ良
品ノ増加ヲ謀ルト虫ニ各所ニ建設スル
器械所ハ規模狭少ニシテ巨額ノ荷物ヲ
製出スル能ハス壯大ノ工場ヲ各所ニ起
サンニハ資金ノ能ク民力ニ耐ユルナシ
依テ本洲従前ノ繰法ヲ改革シ毎戸ノ製
絲ヲ精良ニメント一ツノ繰法ヲ考案シ
座繰ノ見本繰ヲ作り之ヲ試賣セシニ米
国人^ノモ企望スル所ノ點ニ出テ大ニ賞
賛スル処トナレリ是ニ於テ同志者再ニ
合議シ群馬勢多山田利根等ノ各地ニ於
テ繰絲組合ヲ定メ原社ヲ廳下ニ置キ良

製ニ從事セシカ創業ノ當時百事ノ熟セ
ス許多ノ困難ヲ未タシ加ルニ資力ノ薄
弱ナルニ苦ミ或ハ官府ニ仰キ或ハ財主
ニ依頼シ千万辛苦以テ其業ヲ勉ムト金
モ明治十年中ニ製出スルモノ漸ク六千
七百万ノ些額ニ止マレリ然リ而此ノ資
金ノ流通ニ苦シムモノハ素ヨリ資力ノ
乏シキニヨルト金直輸出ナルモノハ海
濤萬里ノ外ニ在テ商況ヲ不測ナルト風
濤ノ急峻トヲ顧慮スル為メ金談多ク調
セム荏苒ニケ年ヲ経ルモ僅ニ前陳ノ小
額ニ止マリ敢テ進歩スルヲ見ス明治十

一年五月第三十三国立銀行海外直賣ノ
緊要タルヲ確認シ為換ノ道ヲ開キシヨ
リ始メテ資金運轉ノ便宜ヲ得十三年ニ
至リ既ニ二萬余斤ノ多キニ及ベリ此ニ
至リテ改良糸ノ実益アルヲ了知シ繰法
ノ傳習ヲ乞フ者所在憤起シ類似ノ生糸
ヲ造出スル拾三萬五千余斤ニシテ殆ド
全洲産額四分ノ一ニ至レリ是レ則開進
ノ萌芽期ナリ
明治十三年ニ至リ改良ノ気勢益銳進シ
群馬甘楽緑埜多胡ノ諸郡各地結合繰場
ヲ起スニ至リレハ當初第三十三国立銀

行ノ本業ノ為ニ繁忙ヲ厭ハス危峻ヲ
冒シテ金融ヲ開キ此為換ヲ断行シテ直
賣ノ商業ヲ維持セシニヨルモノニシテ
又利益~~点~~ノ一點ヨリ論スレハ碓氷郡ナル
モノハ戸数一万戸ニシテ該郡中製絲場
ノ如キハ明治十二年五月始メテ之レヲ
建設シ碓氷社ト称シ二千戸ヲ以テ結合
ス（全郡五分一）而シテ其七月ヨリ十二月ニ至
ル半期間製造スル所ノ糸量三万千六百
余斤ヲ得此代價貳拾万円ヲ收入ス是ヲ
普通廉製ノ絲價ニ比スレハ五万円ノ利
益ヲ増得スルナリ同量同種ノ元繭ニシ

テ製造ノ精粗ニヨリ如此ノ差ヲ生セリ
一郡中五分一ノ改良ニシテ半季ノ労力
能ク五萬円ノ益ヲ得タリ若シ全郡（五分四）
ノ改良ヲナスニ至テハ（五分一）繭ノ製絲ニ
半季ノ収益貳拾萬円ニ至ラン是レヲ以
テ群馬全管養蠶ニ関係ノ郡ヲ十二郡ト
シ之レヲ算スルトキハ目今ノ産繭ニシ
テ半年ノ益金二百四十萬円ノ剰余ヲ生
ス可~~現~~現ニ此種ノ捻絲ニ於テハ既ニ海
外直輸ノ價額ハレバヲ置キ横濱ニ於
テ賣捌ク所ノ價額ニ提絲（提束ノ）ニ比ス
レハ我百斤ニ付二百弗内外ノ高價ニ居

ルニアラスヤ素ヨリ統一ノ法ナキ今日
ニ於テモ既ニ如斯況ニヤ協心戮力克ク一
大團結ヲナシ一定ノ精製良法ノ立ツニ
於テ~~ヲ~~茲ニ於テ本年一月同業者申合
セ管廳ニ上申シ繭絲改良會ヲ起シ同業
親睦互ニ業得失ヲ議シ改良ノ目的ヲ達
セント數會ノ會議ヲ經テ幾条ノ約束ヲ
作り七月一日ヨリ之ヲ実行ス然リ而シ
コノ際幸ニ才三十三国立銀行ハ五月一
日ヲ以テ出張店ヲ前橋ニ置キ大ニ金融
ノ弁宜ヲ開キ又曩ニ^(明治九年)米國ニ派遣シ
レ新井領一郎一時歸朝シ該地實際賣捌

ノ景況且此五年間輸送スル生絲ノ適否
ヲ具ニ演説セシニヨリ製造家ノ思想ニ
裁分ノ安堵ヲ与ヒ海外直賣ノ利益ナル
ヲ了知セシメタルヲ以テ直賣ヲ望ム者
大ニ増加シ而シテ目今該會ニ連合スル
モノ六十^{社組}其製造高英拾四万斤ニ及ハ
ントス此景況ヲ以テ豫算スルニ海外直
賣ノ荷數モ亦七万余斤ノ多キニ上ル可ク
此則開進ノ才三期ト云フ可キナリ而テ
其進歩ノ実況ハ本縣勸業課ノ報告アリ
左ノ表ノ如シ

管内生絲製造高^{十一年}比較表

明治十一年中製造高			
生絲名	週年製造高	販賣金額	價格
器械製絲	英壹万七千六百九十二斤二八	金十萬五千二百四十圓	二拾八
坐繰製捻造	英貳百四千四百五十七斤九二	金十三萬四千二百四十圓	貳拾八
同 提造	英六十一万九千八百八十八斤八四	金二百七十三萬二千餘圓	二拾七
總計	六拾六万貳千三十九斤四厘	金二百九十七萬五千餘圓	二拾六
明治十二年 中製造高			
生絲名	週年製造高	販賣金額	價格
器械製絲	英壹万三千四百六十六斤二六三五	金九萬三千五百四十圓	拾七
坐繰製捻造	英於三万五千九百九十四斤五五六五	金八十七萬六千六百餘圓	拾八
同 提造	英四於七万七千六百五十五斤八九四五	金二百三十四萬五千餘圓	拾九
總計	六拾二万六千二百七十五斤七二四五	金三百七十七萬四千餘圓	拾六

十一年	十二年	比較
英三万五千七百三十三斤三二五五	英三万五千七百三十三斤三二五五	増
虽然改良會ノ旨タル製造人ヲ集合シ互 ニ精製ノ工夫ヲ謀ルニ止リ單ニ会場ノ 規約ヲ設ケルノミニシテ又合本強カノ 約束モナク製品賣捌上ニ於テモ各人各 社其体裁ヲ異ニシ独立ノ勢力ヲナシ商標 ノ如キモ各種雜出其煩云フ可カラズ海 外直輸出ノ場合ニ於テモ亦裁許ノ不都 合ナシト云フヲ得ヌ因テ這回改良會ヲ 廢シ更ニ改良會社ヲ設立シ全洲ヲ團結 シ各製造人所有ノ地券ヲ蒐集シ以テ會		

社ノ資本ニ宛テ資金流用ノ抵当トナシ商
標ヲ一定シ粗製濫造ノ弊ヲ杜絶シ檢査
ノ法ヲ設ケ精製ノ良法ヲ教示スル等下
條定則ノ如クセハ財源自カラ窮極ナク
改良ノ功舉ル可キナリ既ニ前日設クレ
処ノ改良会ノ如キモ第三十三国立銀行
ノ資力ニヨリ資金ノ便誼ヲ開キ單ニ精
製ノ一途ニ盡カスルヲ得其効驗哉詐
ルヲ知ラム此ヲ以テ始メニ改良會ヲ厭
忌セシ徒モ陸續加入ヲ依頼シ改良ヲ唱
ノルモノ殆ント全洲ニ及フ者ハ独精製
ノ一途ニ注目スル耳ナラス偏ニ資金流

通ノ便誼ヲ得ルニ在ルナリ抑製造人ノ
資金ニ苦ムヤ名状ス可カラヌ其金融ヲ
図ルニ當テハ東西奔走總カニ其望ミヲ
達スルモ到底賣捌ト上亦其幾分ノ厭制
ヲ免カル能ス終ニ製造品ヲシテ財生ノ
指命スル所ニ於テ之ヲ賣捌カサルヲ得
サルノ事情ヲ生デシム此レ則チ改良會
社ノ設ケサル可ラス金融ノ便開カサル
可カラサル所以ニシテ前述ノ如ク此會
社ノ設立シ金融ノ便誼ノ開クニ及ハバ
各人競テ加入スルハ論ヲ待タスト雖モ
精製ノ一点ニ於テハ又宜シク深ク注意

ヲ加エサル可ラス彼ノ福島掛田系ノ如
キハ曾テ佐野氏ノ尽力ニヨリ声價ヲ茅
一等ノ地位ニ占メシモ近時ニ至リ質製
百出信ヲ米國ニ失スルニ至ルノ覆轍防
セカサル可ラス而テ團結換糸ノ法決テ
忽諸ニ附ス可カラサル所ナリ以上論ス
ル如ク此改良会社ノ立ツヤ金融ノ便宜
ヲ得ル前述ノ如クニシテ米國其他江直
輸出ノ途ニ於テモ充分ノ便益アリ從テ
横濱外商賣捌キノ上ニ於テモ自カラ其
勢力ヲ強フレ亦前日ノ如ク相場ヲ外商
ニ左右セラル、ノ懼レモナク又商標ヲ

一定シ品位ヲ査定シ之レヲ出荷スルニ
於テハ外商ニ在ツテモ信ヲ其商標ニ置
キ敢テ良否ヲ檢スルノ勞ヲ省キ彼我各
其便ヲ得更ニ賣買上ノ好結果ヲ為ス智
者ヲ待タスシテ知ルヘキナリ然レハ則
我製造人ニ於テハ又粗惡ノ生絲ヲ製ス
ルモ之レヲ賣却スルノ地ナキニ至リ從
テ此会社ニ加入セサルヲ得ヌ改良ノ実
効モ期シテ待ツヘキモノニシテ同州地
方ノ如此キノ結果ニ至リシ時ハ我帝國
全州ノ製造人ニ於テモ亦粗惡ノ生糸ヲ
製出スルヲ得サルニ至ルヘシ之レ改良

会社ノ以テ今日ニ設立セサルヲ得ザル
処ニシテ独本縣全管ノ為メノミナラス
亦帝國一般ノ幸福ト云フ可キナリ則其
会社設立方法ノ概畧ヲ如シ
一改良会ヲ以テ改良会社ト改称シ資本
ヲ募集スル

一当会社資本ハ金同ヲ要セスシテ地券
或ハ公債証書ヲ以テ募集スル
一右資本ハ改良会社中ノ各社各組ニ於
テ年々養蠶製糸ノ為メ使用スル合金
高ヲ見積リ当社ノ資本高ヲ定ムル
一改良会社ノ各組各社ハ年々養蠶製糸

ノ為メニ需用ノ資金ヲ該会社ヨリ借
リ受ケン為メ其資金同額ノ地券公債
証書ノ類ヲ該会社ニ差出ス

一右資本ハ惣テ前条ニ掲クル如キ物品
ニシテ其終流通ヲ為スヘキ者ニ非ス
才三十三国立銀行ニ依頼シ借用金根
拠当ト為スヲ以テ其利益ハ間接ニ社
中業務ノ渋滞ヲ生セサルニ止マリ他
ノ会社ノ如ク配当ノ利益アルナシ
但本文資金ハ繭絲改良ノ目的ニ付
他ノ使用ニ供スル為借用ヲ依頼ス
ルモ決シテ承諾セサルベシ且養蠶

ノ資ニ供スル分ハ一村若シクハ数
名結社スルモノニ限リ貸与スルヲ
法トス

一前条ノ次才ナルヲ以テ第三十三国立
銀行前橋支店ト豫テ当坐預ケ貸越シ
ノ約定ヲナシ該地券等ヲ根抵当ニ差
入レ年々幾何回ノ資本ヲ借受クルモ
ノトシ入用ノ都度之レヲ受取ル手續
キラナスヲ

一当会社ヨリ各社各組へ資本ヲ貸与ス
ルニハ抵当ヲ要セズ普通ノ証書類ヲ
以テ可成輕便ニ貸渡シノ取扱ヲナシ

各社各組トモ同一ノ手續キラ以テ利
足ノ不公平ナラサル様スヘキヲ

一會中ノ各社各組ニ貸与スル金高ハ其
差入タル地券公債証ホノ金額ニ満ル
ヲ限トス若其請求高根抵当ニ超過ス
ルトキハ会社ノ都合ニヨリ是レヲ謝
絶シ又ハ更ニ相当ノ抵当ヲ納メ貸与
スルヲアルヘシ

一当會社ノ出納ハ一切是レヲ才三十三
国立銀行前橋支店ニ依頼シ本会ニ於
テハ簿冊ニ記載スルノニテ現金ヲ
扱ハサルヲ

一 当会社ヨリ資本金ヲ借り受ケ製造シ
タル各社各組ノ生糸ハ其總高ノ幾分
ヲ必ス海外ニ輸出スヘキ
一 当會社ヨリ各社各組ニ貸附スル資本
ハ毎年六月一日ヨリ漸次貸与シ翌年
五月三十日マテヲ以テ一回トナス
一 右六月ヨリ借り出シタル資金ノ返済
ハ同年十二月三十日迄ニ半數ヲ入
翌年五月三十日迄ニ殘額五分ノ三ヲ
返納シ其殘額五分ノ二ヲ次會ノ借用
ノ内ニ繰込ム可シ
一 当會社ヨリ第三十三銀行へ返入スル

手續モ右同様ノ
一 各社各組ヨリ外海或ハ内国荷為替ヲ
ナストキハ先ツ其荷物ヲ當會社又ハ
同社出張所ニ送致シ更ニ改良會社ノ
名義ヲ以テ其取扱ヲ第三十三国立銀
行ニ依托スヘシ但シ本文ノ手續ニ付
キ第三十三国立銀行ト各社各組トハ
直接ニ取引ラサハル可シ
一 當會社ハ本店ヲ群馬縣下前橋ト定メ
碓氷綠埜甘樂佐位勢多ノ各郡ニ出
張所ヲ置キ事務ヲ統轄スル
但シ出張所ハ各郡中ニ設クル製糸

所ノ内便宜ノ場処ヲ選ニ假設スル

一 当会社ノ役員ト称スルモノ左ノ如シ

取締役 五人乃至七人

内頭取 一人 本社在勤
同副取 一人

支配人 一人

書記 一人

簿記 貳人 貸附計算員

檢線役 拾人

内三人本社在勤七人回在

一本社ノ費用ハ各社各組製造ノ生糸百
斤ニ付若干錢ヲ收入シ支拂ヒ置キ現費決

算ノ上過金アレハ割戻シ不足金ハ追
徴スヘシ

一本社ノ規則ハ設立ノ際更ニ各社各組
ノ公議ヲ採リ詳細ニ議定スヘシ

一本社營業ノ年限ハ何年ト定ム其永続
廢止トモ満期ノ後衆議ヲ以テ決定ス
ヘシ

Table with 12 columns and 10 rows of handwritten Chinese text.

一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
一	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才

